

火起こし（舞ざり式）



1 ねらい

- ・ 火の使用について、先人の知恵や苦勞を知り、火の起こる仕組みを学ばせる。
- ・ 火を起こす喜びを体感し、火の大切さやありがたさを理解させる。

2 所要時間 1時間15分程度

3 活動人数 最大68人まで【管理棟下20人(最大4人×5班)、食堂下ピロティ48人(最大4人×12班)】

4 活動場所 食堂下ピロティ、管理棟下ピロティ

※焼き板(色付け無し)やFDG1時間15分と組み合わせて2時間30分で活動することもできます。火起こしだけの場合は、残りの1時間15分は団体での活動を計画してください。

5 参加者の服装および準備物

- ・ 上下長袖の服(夏季も) ・ 下靴 ・ 帽子
- ・ 軍手(綿製品に限る。ゴム等の滑り止めは不可。)

6 活動の流れ

活動の流れ (時間)	活動内容	留意点
1 全体説明 (10分)	・活動についての流れの説明を聞く。	
2 用具の配布 (5分)	・貸し出し用具の点検(数量・破損等)をする。 (火起こし器、火きり板、麻ひも、台紙、火ばさみ)	先端部がきちんとセットされているか、火きり板に使える火きりうす(くぼみ)があるか確認させる。
3 火起こし体験 (1時間)	・火起こしのデモンストレーションを見る。 ・麻ひもをほぐして、火口(ほくち)をつくる。 ・火きり板に火起こし器の先端を合わせ、ハンドルを上下させて軸を回転させる。 ・はじめはゆっくりと回転させ、煙が出始めたら速度を上げる。 ・火種が出来たら火口の上に乗せる。 ・火口を火ばさみで挟んで、細く長い息を吹きかける。	・火起こし器を回転させる時は、押す時に力を入れ、戻す時は反動を利用させる。 ・火きり板、火起こし器の先端は熱くなるのでさわらないよう注意する。 ・煙が出てからも火種ができるまで連続しておこなわせる。
4 片づけ		
5 まとめ	・職員の点検を受ける。 ・まとめの話を聞く。	・数量、破損等の確認をさせる。

7 留意事項

帽子を着用し、やけどには十分注意する。